



特別養護老人ホーム
ウエルプラザやまだ荘

社会福祉法人 土佐香美福祉会

働きやすい職場環境をノーリフティングケアで構築



ユニット型特別養護老人ホーム
ウエルプラザやまだ荘概要

名称 ウエルプラザやまだ荘（ユニット型特別養護老人ホーム）

所在地 高知県香美市土佐山田町秦山町3丁目4番20号

設置・経営主体 社会福祉法人 土佐香美福祉会

定員 全室個室8ユニット76床 併設短期入所生活事業12床

平均要介護度 4.4（令和3年10月）

介護職員数52名 1.6対1

配置職員 看護職員5名 機能訓練指導員1名 生活相談員1名

介護支援専門員2名 管理栄養士1名

フロア構成 2ユニットで1フロア構成 全4フロア



ウエルプラザやまだ荘、ノーリフティングケアの経過

1

増床移転直後のノーリフト

平成31年2月に移転開設した際に、風呂場に天井走行式リフトやフロアに床走行式リフトを導入するも、基本的な身体の使い方やノーリフトマネジメントが確立しておらず、業務での腰痛発生が後を絶たなかった。

2

労働安全のための ノーリフト宣言

「用具、機器などがあるだけ」から脱却するため、また身体負担箇所や腰痛を根絶するために、ノーリフティングケア委員会の立て直しを行い、職員が安全に働くためのノーリフト宣言をする。

3

働きやすく、 快適な生活に向けて

ノーリフトに関する機器や用具を、より効果的に効率的に使用するために、新たに機器の導入を計画する。また働く環境でのリスクの抽出強化のため、ヒヤリハットに取り組みPDCAサイクルの習慣化を強化する。

2017

ノーリフティングケアに着手。福祉就労環境改善推進事業費補助金を活用し、車椅子及び移乗用用具等を導入。

2020.4

労働安全を施設の取り組みに掲げ、職員のためのノーリフティングケアに着手する。

2021.6

高知県介護福祉就労環境改善推進事業費補助金を活用し、リフト及びスタンディングリフト、そして電動昇降車椅子の導入申請を行う。

2018

ノーリフティングケア委員会を立ち上げる。

2020.8

マイスター研修に、施設長他9名が受講し修了する。

2021.8

より安全に働くことができるよう、職場環境のリスク抽出～改善のため、ヒヤリハットを業務に導入する。PDCAサイクルで習慣化できるように取り組みを始める。

2019

高知県福祉就労環境改善推進事業のノーリフトマイスター研修を受講。フロアリーダー他3名がマイスター取得。

2020.10

厚労省パイロット事業に参加し、全体最適化カテゴリーで、排泄ケアにおける業務効率改善に取り組む。

2021.9

スライディングシートを全居室に完備。またスライディングボードを追加導入し、入居者2.5人に対して1枚の使用が可能となる。

2021.1

ノーリフティングフォーラムに参加し、厚労省パイロット事業で排泄ケアにおける業務効率改善に取り組んだ報告を行う。

2021.10

電動昇降車椅子4台導入。平行移乗の効率化に取り組む。



ウエルプラザやまだ荘、ノーリフティングケアの経過

2

2020年4月

2020.4

労働安全のための ノーリフティング宣言

「用具、機器などがあるだけ」から脱却するため、また身体負担箇所や腰痛を根絶するために、ノーリフティングケア委員会の立て直しを行い、職員が安全に働くためのノーリフティング宣言をする。

労働安全を施設の取り組みに掲げ、職員のためのノーリフティングケアに着手する。

職員が安全に働くための、
ノーリフティング宣言をする。

2021.1

ノーリフティングフォーラムに参加し、厚労省パイロット事業で排泄ケアにおける業務効率改善に取り組んだ報告を行う。



これからお話しすること。

- ①ノーリフティングケア委員会について
- ②ヒヤリハットへの着手について
- ③やまだ荘で導入している機器用具について
- ④福祉機器と業務を考える
- ⑤持たない、人力で運ばない習慣について
- ⑥まとめと今後について



①ノーリフティングケア委員会について



ノーリフティングケアの中核 ノーリフティングケア委員会

施設長
マイスター

三谷 平通
Mitani Masamichi

副施設長兼医務課長
健康管理担当

佐々木 妃佐子
Sasaki Hisako

業務課長兼機能訓練指導員
リーディングマイスター

久保 貴行
Kubo Takayuki

統括主任県生活相談員
マイスター 安全対策担当者

宮本 典子
Miyamoto Noriko

主任生活相談員
マイスター

小笠原 正貴
Ogasawara Masaki

介護主任
マイスター

三木 哲郎
Miki Teturou

介護主任
マイスター

田中 甫味
Tanaka Fumi

5階ユニットリーダー
マイスター

原田 隆司
Harada Ryuji

4階フロアリーダー
マイスター

井上 浩太
Inoue Kouta

3階ユニットリーダー
マイスター

池田 正明
Ikeda Masaaki

2階フロアリーダー
マイスター

岡山 祐大
Okayama Yuudai



ノーリフティングケアの中核 ノーリフティングケア委員会

労働安全のためのノーリフティングケアが行われておらず、慢性腰痛を訴える職員は多かった。



身体負担箇所の抽出と対策をノーリフティングケア委員会で取り扱う。



ノーリフティングケアの中核 ノーリフティングケア委員会

フロアで**身体的・精神的負担業務の抽出**



委員会で業務負担箇所について、対策を検討、再検討する。



対策案を実施。



実施した対策を評価し、結果を次回の委員会で報告する。



ノーリフティングケアの中核 ノーリフティングケア委員会

その他に…

- ・導入している機器や用具の評価
- ・今後、導入をする必要がある機器や用具の選定
- ・腰痛を発症、もしくは発症しそうな職員の予防検討
- ・ノーリフティングケアに関する教育について
- ・次年度事業計画について、など



身体負担箇所の抽出検討を行うことで、更なる事故予防の観点が必要となってきた。

ヒヤリハットを導入するきっかけとなった。



「できることから、自分たちで!!」



②ヒヤリハットへの着手について



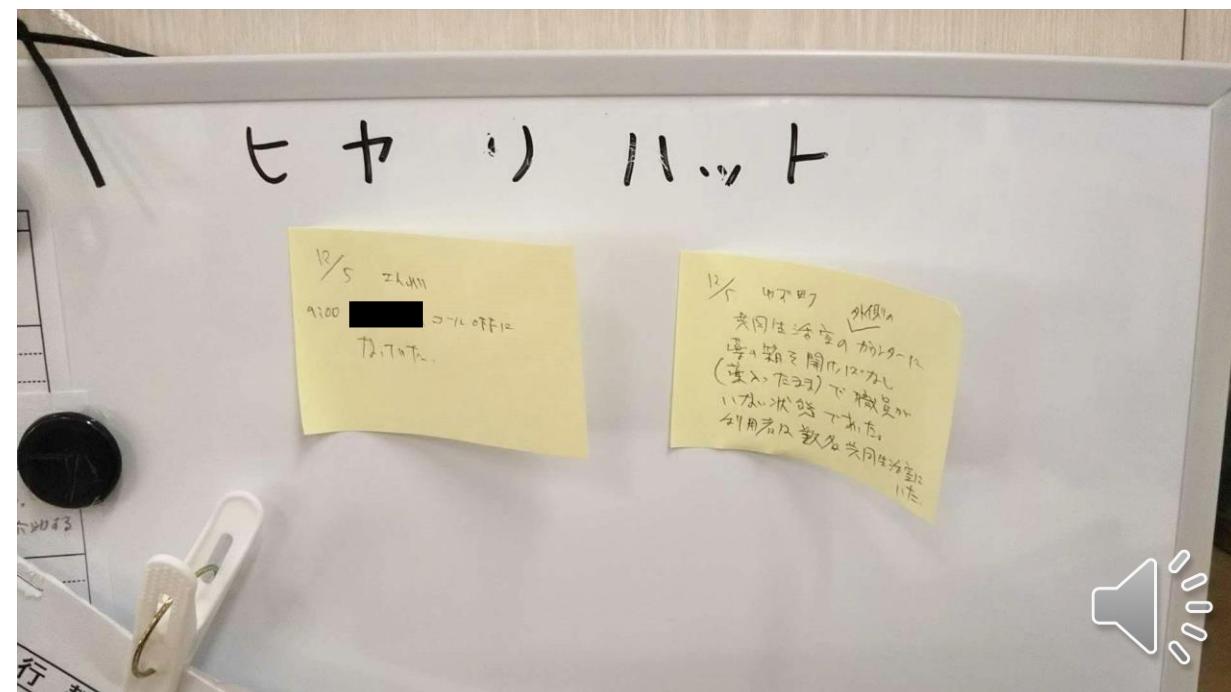
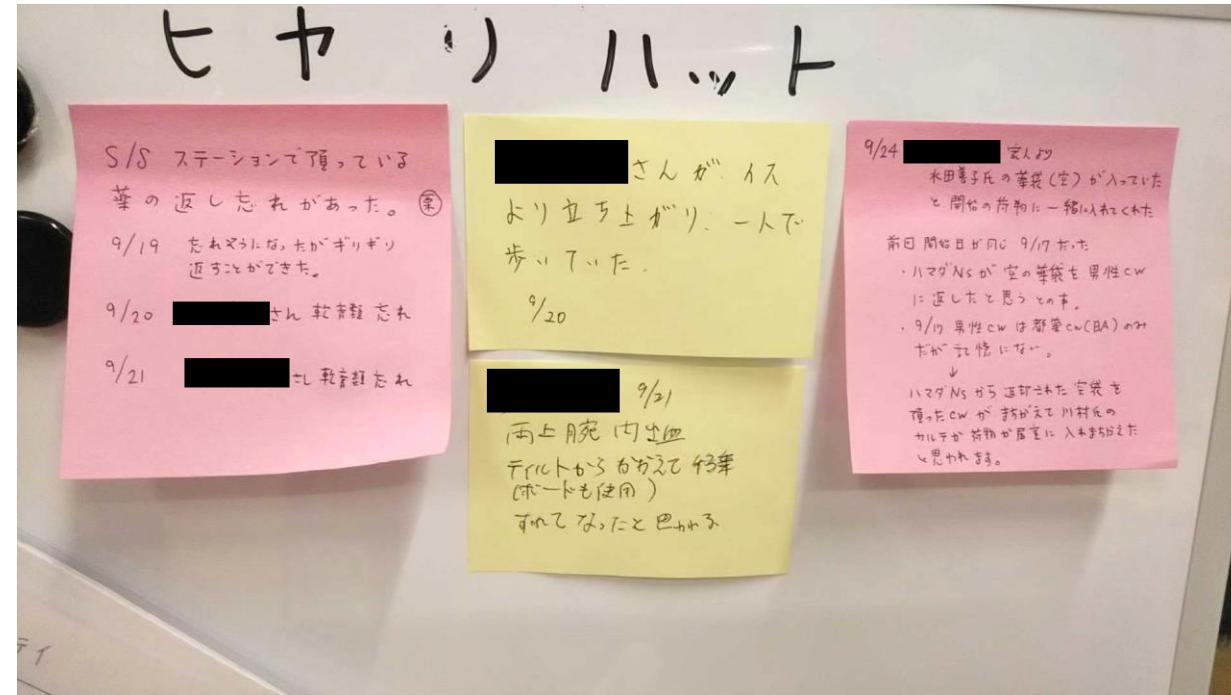
ヒヤリハットへの着手について

身体負担の芽を摘むための予防の習慣がない。

「むつかしく考えない」「自分でできることから取り組む」

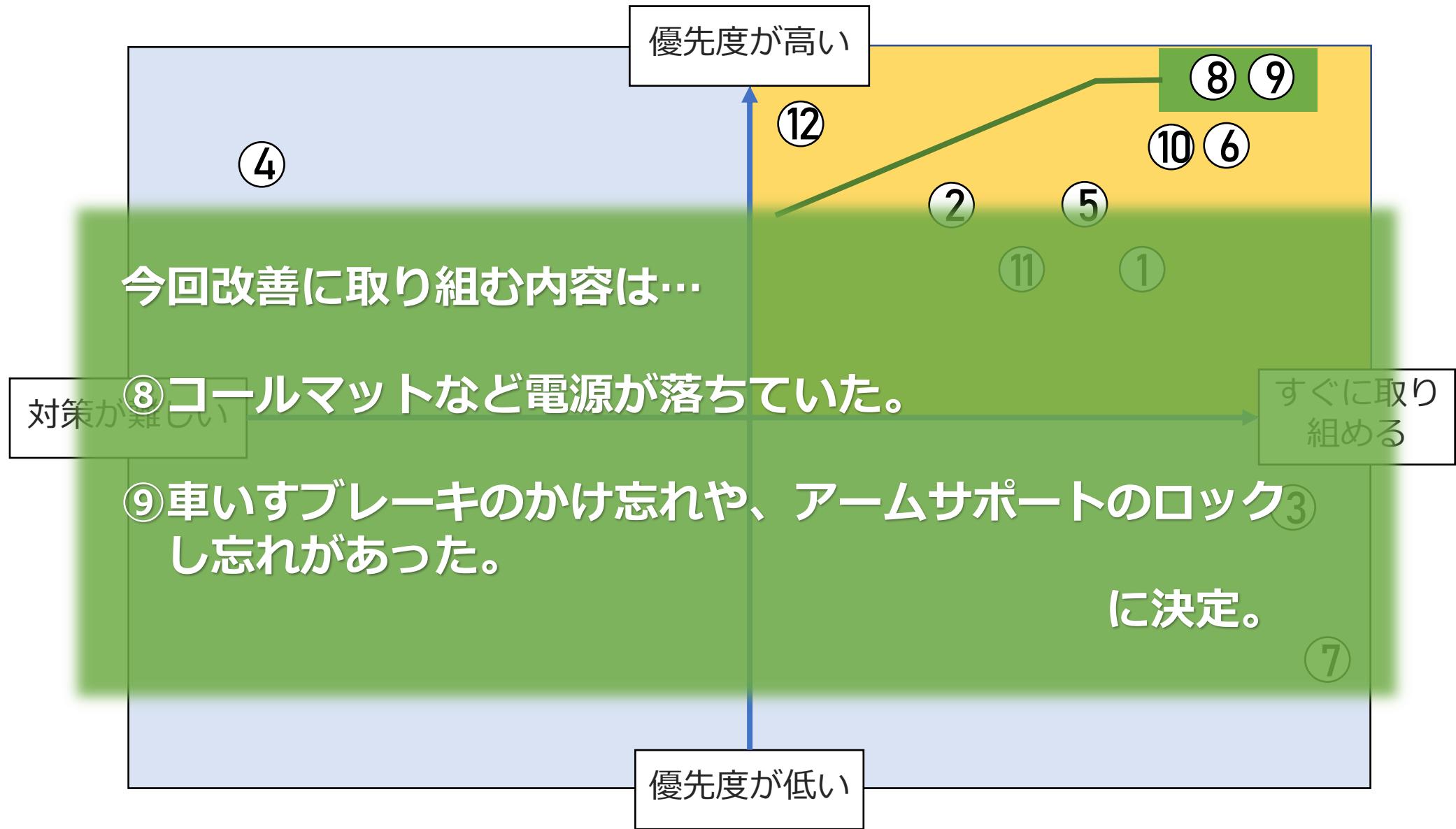


たくさんのヒヤリハットが
挙がることが重要



- ①床が濡れている（滑る可能性あり）
- ②ベッドギャッチアップする際に入居者が柵を握ったままになっており、手をはみそうになった。
- ③階段室の扉を開けようすると、反対側に人がおりぶつかりそうになる。
(注意書きを貼ってあるが目立たない)
- ④伝達事項が正確に伝わっていない。
- ⑤介助型車いすの誘導スピードが速い。
- ⑥利用者を手引きで歩行している時につまずきがあった。
- ⑦超低床ベッドを一番下まで下げた時、自分の足をはみそうになった。
- ⑧コールマットなど電源が落ちていた。
- ⑨車いすブレーキのかけ忘れや、アームサポートのロックし忘れがあった。
- ⑩車椅子で誘導中、利用者が手すり等に手を伸ばそうとした。
- ⑪車椅子の整備不良があるまま使っている。
- ⑫リフトなどフックが止まっていなかった。





ヒヤリハット対策実践内容（3階）

ヒヤリ内容	コールマットなど電源が落ちていた。
対応策	入床・離床時コールマット電源と反応確認を行い、また札をつける。札にて電源反応確認促しする。
実施結果	入床・離床時コールマット電源と反応確認を行っているが、札については大きさ等邪魔にならないものを検討中。現在、同一ヒヤリは起こっていない。

ヒヤリ内容	車いすブレーキのかけ忘れや、アームサポートのロックし忘れがあった。
対応策	ロックした後ブレーキはタイヤ動かないか確認、アームサポートも動かないか確認。ブレーキ整備不良の確認も行える。
実施結果	<ul style="list-style-type: none">・ブレーキについては、停止後の動作確認を行い、かけ忘れ等起きておらず、整備不良の発見にも繋がっている。・アームサポートについては、移乗後トイレ後に職員が手で動かないかの確認を行い同一ヒヤリは起こっていない。



③やまだ荘で導入している機器用具について



今年度、新たに加わった、機器用具

① 電動昇降式車椅子

② スタンディングリフト

③ 床走行式リフト

④ ティルトリクライニング車椅子

⑤ スライディングシート

⑥ スライディングボード

4台（各フロア1台）

1台追加購入

1台追加購入

4台買い替え

76床全居室 風呂場

11枚追加購入（入居者2.5人に対して1枚）



機器用具を導入することも大切であるが…

「機器用具を業務にシンクロさせる」ことが大切。



④福祉機器と業務を考える

(入居者の健康維持と入浴介助の効率化)

入居者の健康維持のために

スライディングシートを
局所の皮膚状態悪化予防
に活用。

使用した入居者の皮膚発
赤や褥瘡（退院時や新規入居時の
持ち込み）の**治癒が平均で約
6.5日短縮!!**

擦れや摩擦に脆弱な皮膚
の方には積極的に使用。



「時間を作る。」

昨年度はスタンディングリフトを使用して、トイレでの2人介助を1人することで、時間効率を上げることに成功した。

今年度は電動昇降式車椅子を購入して、入浴介助時間の効率化を図ってきた。



入浴介助の効率化

効率化に着手する前、一人の入浴介助で使ったリフトの回数



入浴介助の効率化



入浴介助の効率化



入浴介助の効率化

業務効率改善後、一人の入浴介助で使ったリフトの回数



1回（入居者1人）の入浴介助時間



この削減した時間をどう活用するか…



⑤持たない、人力で運ばない習慣について



- ・持ち運ばない環境づくり
- ・徹底的に重さを軽くする



持たない、人力で運ばない習慣を…



持たない、人力で運ばない習慣を…



持たない、人力で運ばない習慣を…



持たない、人力で運ばない習慣を…

使用済みおしごり入れを運ぶカート

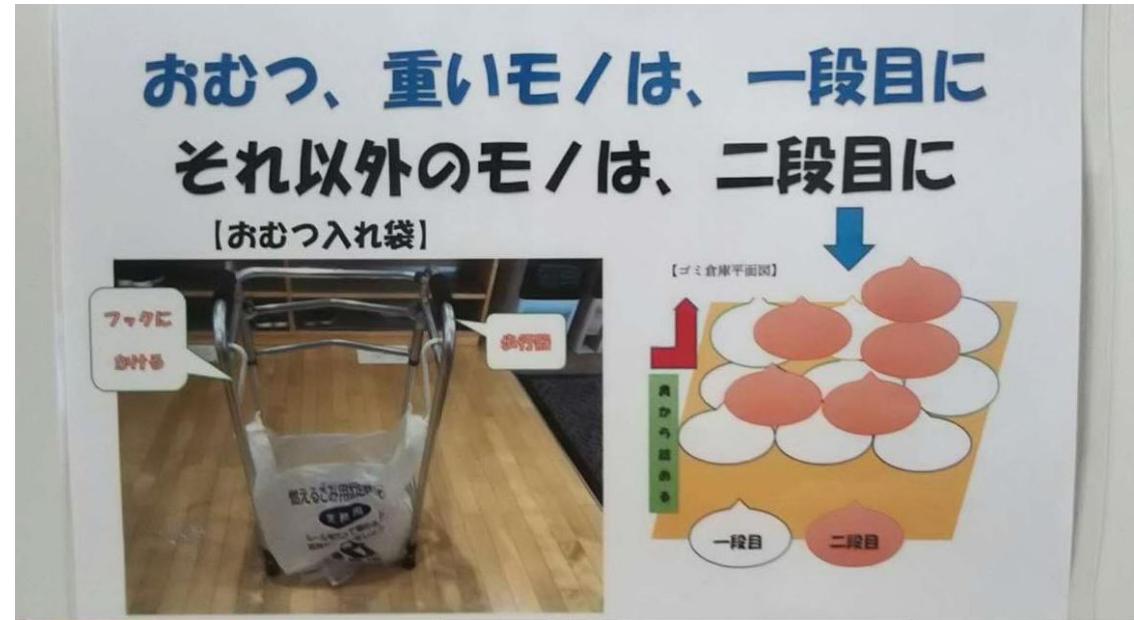
高さのあるごみ箱、蓋つき!!



持たない、人力で運ばない習慣を…



持たない、人力で運ばない習慣を…



⑥まとめと今後について



今年度、重点的に取り組んだ内容

- ・ヒヤリハット
- ・身体負担箇所軽減
- ・業務効率化
- ・働く環境の見直し



ノーリフティングケア宣言後のやまだ荘

2020年 → 2022年1月

① 新たに腰痛を認めた職員 (含プライベート)	3人 → 0人	労働安全対策実施を施設で宣言して以降（2020年10月以降）
② 業務上新たに腰痛を認めた 職員	1人 → 0人	労働安全対策実施を施設で宣言して以降（2020年10月以降）
③ 慢性腰痛者	11人 → 4人	
④ 重度腰痛者	2人 → 0人	



ノーリフティングケア宣言後のやまだ荘

2020年 → 2022年1月

① 皮膚状態悪化治癒期間	約6.5日短縮	(2020年10月以降)
② 褥瘡発生	0人	新規入居時及び退院時持ち込みはカウントしていない
③ 業務効率 (排泄介助)	1日トータル 172分の時間削減 に繋がった。	施設全体4フロア分の合計
④ 業務効率 (入浴介助)	1日トータル 54分の時間削減 に繋がった。	施設全体4フロア分の合計



今後のことについて…

- ・更に入浴環境を見直し、入浴介助の完全ノーリフティングケアを実現する。
- ・重いものを人力で運ばない事業所を目指す。
- ・感染拡大時でも継続できるノーリフティングケアを実現するなどに取り組んでいきたいと考えています。

